

北朝鮮の金正恩氏による常軌を逸した頻回に亘る弾道ミサイル等の日本海等への発射に抗議する決議

北朝鮮の金正恩氏が弾道ミサイル等の開発を加速度的に実行している。特に先月は既に30発以上発射し、先々月、先月に発射したものの一部は我が国上空を通過し数年ぶりにJアラート発出を伴うものや我が国の排他的経済水域（ＥＥＺ）内に弾着するものもあり、これらは平和を愛する日本国民を恐怖に陥れている。また、ミサイルの種類や性能、発射方法、軌道等多岐にわたり、我が国をはじめ世界に対して軍事的挑発のレベルを高めている。

また、弾道ミサイルと核弾頭は不可分の関係であり、このことは金正恩氏が自ら認めており、弾道ミサイルに搭載する核弾頭の小型化にも一定の成果を収めていると思料される。

毎日新聞によると北朝鮮国営の朝鮮中央通信が先月16日に日本を非難する論評を発表し、「日本上空を通過した10月4日の中距離弾道ミサイル発射は「敵たちに送った警告だ」と述べ、北朝鮮に対し米韓両国との連携強化で対抗する日本を強くけん制した。論評は「この警告が実際の結果につながるかどうかは、日本をはじめとする敵対勢力の態度にかかっている。日本の敵視策動は高い代価を支払うだろう」とも述べた。」とある。

よって、本市議会は、弾道ミサイル等の発射を一向に止める気配のない北朝鮮の金正恩氏に対し、これらを即刻中止するよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年12月22日

習 志 野 市 議 会